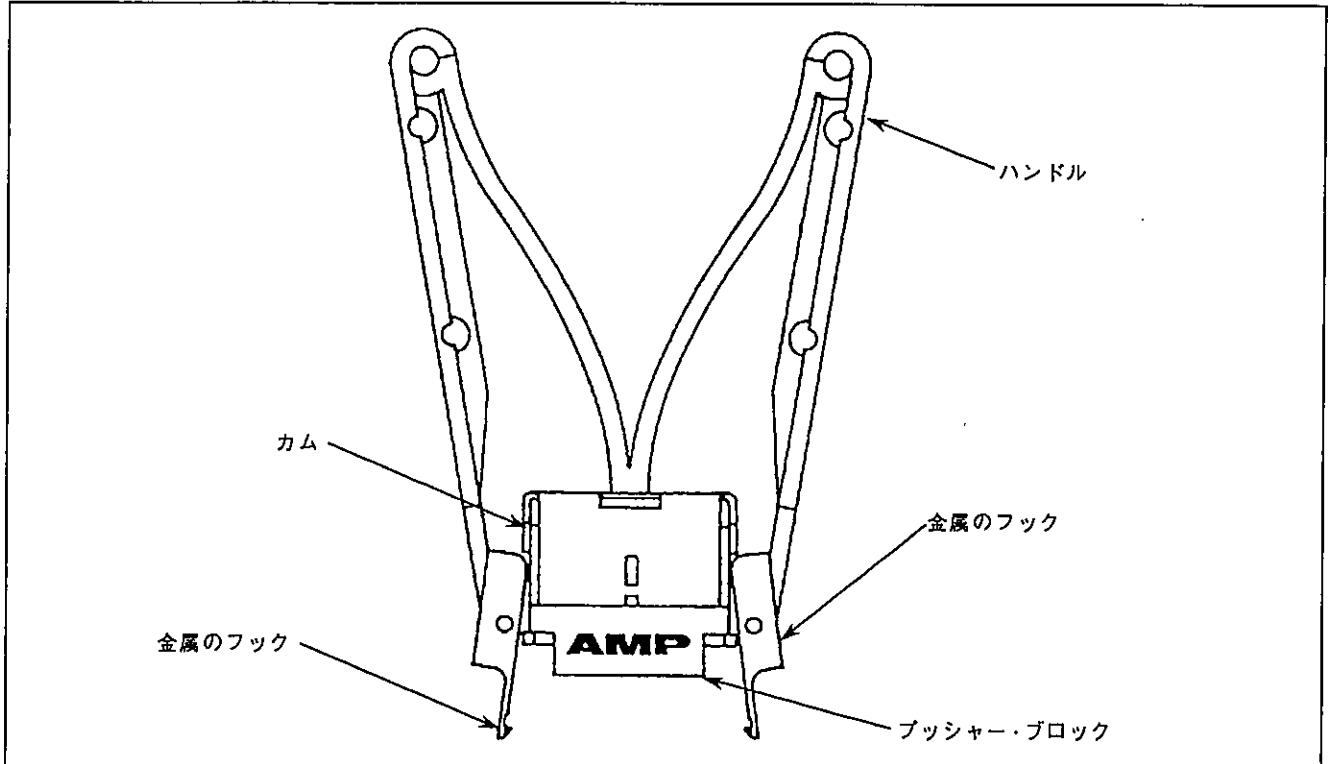


Released	4-15-'91
Rev.	



マイクロ・ピッチ手動工具型番	マイクロ・ピッチ部品型番		ソケット サイズ (極数)
	ハウジング・サブアッセンブリー	カバー	
821958-1	821949-4	821939-1	100
	822064-4		
821958-2	821949-5	821942-1	132
	822064-5		
821958-3	822064-6	822111-1	164
821958-4	822114-3	822115-3	144
	822114-4	822115-4	160

Fig.1

1. はじめに

本取扱説明書は、図-1に示したAMP・マイクロ・ピッチ手動工具を説明するものです。この手動工具は、図-1に示したAMP・マイクロ・ピッチ・ソケット・アッセンブリーのプラスチック・クォード・フラット・バック (PQFP) と、カバー部品の挿入及び引き抜き作業の両方に使用されます。

手動工具を御使いになる前に、この取扱説明書をよくお読み下さい。

注 本書に記載されている全寸法は、インチ建て寸法をミリメートル換算したものです。図解はそのものを示すだけのものであり、実物大ではありません。

2. 工具についての説明 (図-1)

マイクロ・ピッチ手動工具は、マイクロ・ピッチ・ソケット・アッセンブリーを装着している基板に悪い影響を及ぼさず、PQFP (プラスチック・クォード・フラット・バック) とカバー部品との挿入、引き抜きが容易に出来るように設計されています。手動工具は、夫々、特定のマイクロ・ピッチ・ソケット・アッセンブリー・サイズの製品を処理します。

手動工具には、カム、2個のフック・プッシャーブロック及びハンドルがあります。

* AMP Inc. の登録商標

その道具立ての仕方次第(挿入用か引抜き用か)によって、工具はいろいろに働きます。

カムは、挿入か引抜きかのどちらかの作業のために工具を動かすのに適当な場所に置かれます。カムの取付は、工具のハンドルの近くで、カムの窓越しに見える所に設置されます。

工具が挿入用に準備されている時、工具ハンドルを締めると、マイクロ・ピッチ・ハウジング・サブアッセンブリーの下にあるかぎの手(フック)が動き、ハウジング・サブアッセンブリーを、しっかりと、つかんだあと、プッシャー・ブロックがハウジング・サブアッセンブリーの中にカバー・PQFPアッセンブリーを押し入れます。

引抜きには、工具ハンドルを締め、プッシャー・ブロックを基板の方に動かします。プッシャー・ブロックが、カバー・PQFPアッセンブリーの上部に突き当たるとアッセンブリーが簡単に動いて、フックにかみ合わさります。

3. 挿入の手順

注 下記にステップ1は、インチサイズの製品のみに適用します。ミリサイズのPQFPにミリサイズのカバーを組立てるため詳細説明は、AMP取扱説明書 IS-9703を参照して下さい。

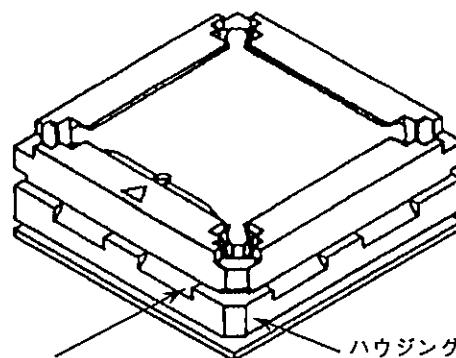
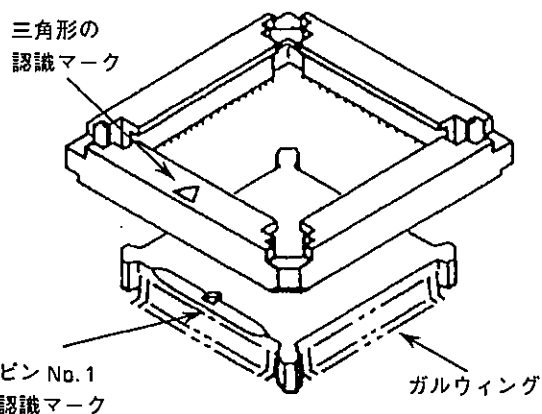
挿入の手順の残りのステップ(ステップ2から7まで)と引抜きの手順は、インチ・サイズ、ミリ・サイズのどちらの製品にも適用出来ます。

ステップ

1. 平らな面の上に、下向きにしたガルウイングと共にPQFPを置いて下さい。

カバーについている三角形の認識マークとPQFPにある“ピン No.1”の認識マークとを一直線に整列させ乍ら、PQFPの上に、カバーを置いて下さい。カチンと云う音が聞えるまで、カバーをPQFPに押し込んで下さい。

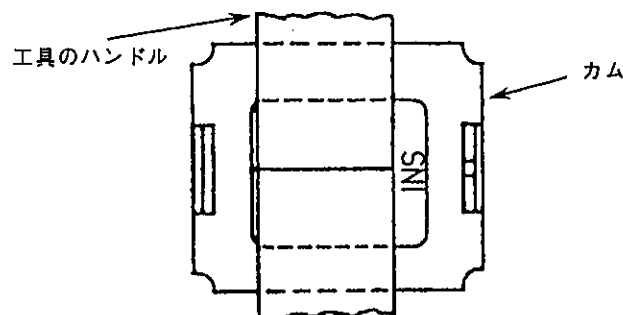
PQFPがカバーに完全に挿入されており、PQFPの全部のリードが、カバーの下側の芯合せコウムに合っているか確認して下さい。

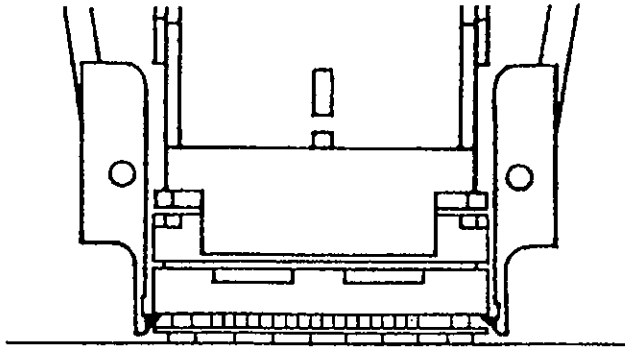


カバーのチャンファ

ハウジング
サブアッセンブリー
のチャンファ

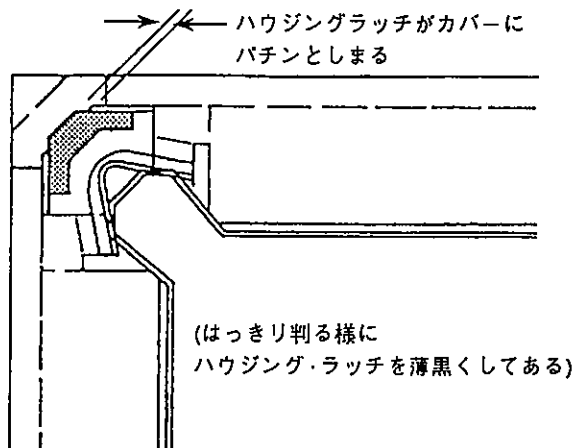
2. マイクロ・ピッチ・ハウジング・サブアッセンブリーの上に、PQFP・カバー・アッセンブリーを置いて下さい。カバーのコーナー・チャンファを、ハウジング・サブアッセンブリーのチャンファと正しく一直線に合わせて下さい。
3. カムの上窓越しに“INS”(挿入用)の文字が見える様に、カムを正しく置いて手動工具を挿入用に準備して下さい。
4. 手動工具を、マイクロ・ピッチ・ハウジング・サブアッセンブリーとカバー・PQFPアッセンブリーとの上にじかに置き、2個の金属フックが基板に直角に置かれている事を、確かめて下さい。
5. 工具ハンドルを締めつけ乍ら、基板の方向に軽く押しして下さい。工具は図の様に、アッセンブリーにかみ合います。
6. プッシャー・ブロックを、行き詰まりまで押し込むと、カバー・PQFPアッセンブリーは、マイクロ・ピッチ・ハウジング・サブアッセンブリーに完全に挿入されます。ハンドルの締めつけを解放し、工具を取り除いて下さい。





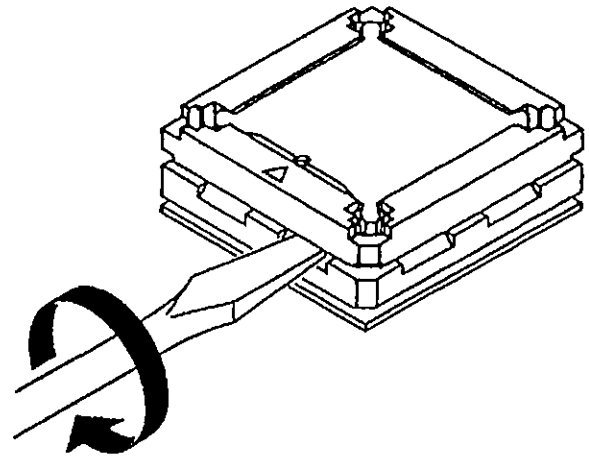
7. ハウジング・ラッチを夫々検査して、カバーが、完全に掛け金で締められている事を確かめて下さい。図に示す如くハウジング・ラッチはカバーに明らかに締まっていなければなりません。また、カバーとハウジングの間のすき間が均一であり、且つそれが .254 mm (.010 in.) 以内である事も調べて下さい。

若しも、カバーが完全に掛け金締めされていないときは、下図の様に PQFP・カバー・アッセンブリーを取りはずし、ガル・ウイング・リードに損傷が無く、芯合せコウムに正しく置かれている事を確かめてから、挿入の手順のステップ2からの手順をくり返して下さい。



4. 引抜き手順

ハウジング・サブアッセンブリーからカバー・PQFPアッセンブリーを取り除く方法に2種類あります。その第1法は、ハウジング・ラッチを1個ずつ取りはずすやり方であり、その第2法は、2個のハウジング・ラッチを同時にはずすやり方です。この第2法はラッチを更に損耗させる事がありますので、時間が許されるならば、第1法の採用をおすすめします。



4.1 第1法

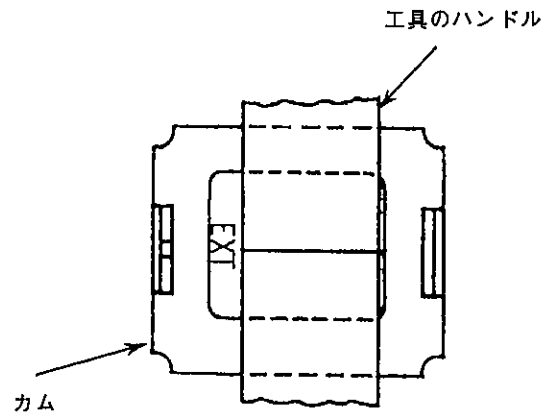
ステップ

1. 図に示す様に、小さな平刃のねじ回しをカバーとハウジングの間に差し込み回して下さい。
2. 残りの3つの側面に対して、上記のステップ1の手順を繰り返して、夫々のハウジング・ラッチの掛け金をはづして下さい。

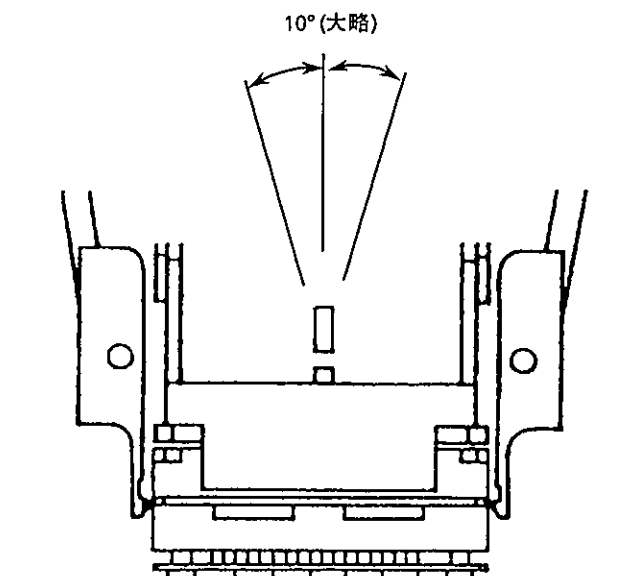
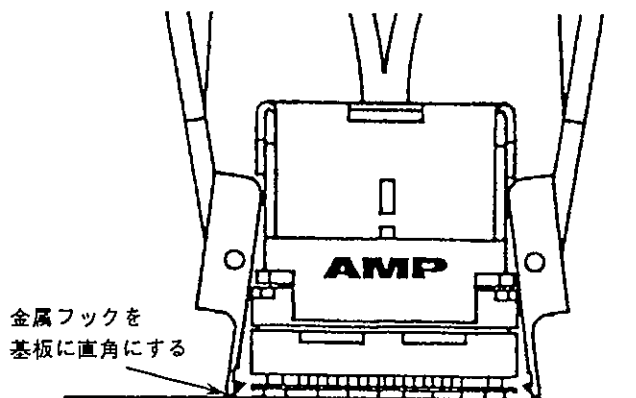
4.2 第2法

ステップ

1. 図に示す様に、カムの上窓越しに“EXT”(引抜き用)の文字が見える様にカムを位置ざめして、手動工具を引抜き用に準備して下さい。



2. 手動工具を、マイクロ・ピッチ・ソケットの上にじかに置き、2個の金属フックが基板に直角に置かれている事を確かめて下さい。
3. 手動工具を締めつけ乍ら、基板の方向に軽く押して下さい。



4. 工具ハンドルが完全に締まっている時に、カチンと云う音が聞えるまで、一方のフックの方向に、手動工具を静かに動かして下さい。工具ハンドルは、垂直の位置から左右に夫々の約10度の角度しか動きません。カチンと云う音を聞いてから、工具を反対方向へ、垂直の位置から約10度、再び静かに動かして下さい。
5. 工具ハンドルを完全に締めたままで、工具をカバー・PQFPアッセンブリーと一緒に持ち上げ、ハウジング・サブアッセンブリーから取り去って下さい。
6. 工具ハンドルの締めつけを解除すると、カバー・PQFPアッセンブリーが勝手に落下します。

5. 発注方法

マイクロ・ピッチ手動工具の追加を御希望の節は最寄りの当社支店・営業所へ御問い合わせ下さるか、又は直接下記へご注文下さい。

日本エー、エム、ピー株式会社